

ドロップ・サイト・デイリー、2月17日：ジェシー・ジャクソン牧師死去；米軍の大規模増強の中、イラン協議第2ラウンド終了；スーダン全土で60人死亡

脇浜義明訳 *脚注は訳注

ガザ・ジェノサイド、西岸地区、イスラエル

*イスラエル軍のガザ回廊攻撃で17人死亡：週末イスラエル軍はガザ回廊各地を空爆と砲撃と銃撃を行い、パレスチナ人17人が死亡、そのうち11人は15日の日曜日朝に死亡した。ガザ回廊北部の「イエローライン」付近で住民が攻撃され、ジャバリヤ難民キャンプ西部の避難民テントが攻撃された。死者の中にはパレスチナ・イスラム聖戦の軍事部門サラヤ・アル・クッズ旅団の司令官サーミ・アッダブドゥフも含まれていた。

*イスラエルがラファ・クロッシングの通行を制限する中で、外国で治療を受ける必要があった重病人男性が死亡：ステイーブンス・ジョンソン症候群で8カ月間の闘病生活の末、ムハンマド・ダバンは16日死亡した。ステイーブンス・ジョンソン症候群は生命を脅かす恐ろしい病気で、専門的治療が必要であるが、イスラエルの攻撃でガザ医療システムが壊滅し、イスラエルのラファ・クロッシング通過制限のため外国で治療を受けることもできなかった。ガザ保健省によると、外国での治療を待っている病人と負傷者は2万人以上いる。保健省は、ラファ・クロッシングの限定的な通行許可は「人道的惨事の規模に見合っていない」と言っている。2026年2月2日から16日の間にラファ・クロッシングを通った人は僅か925人で、イスラエルが当初許可すると言っていた約3000人の31%にすぎない。

*国境なき医師団 (MSF)、ガザのナセル病院での「重篤でない病気」の治療活動を一時停止：MSFは、ハーン・ユニス市のナセル病院で重篤でない患者の治療活動をすべて停止すると発表した。発表声明の中でMSFは、覆面をした武装勢力が病院内に侵入したと言った。武装した男たちの身元や所属は分からないと言っている。MSFは、武装勢力が患者を脅迫し、逮捕し、武器を振り回したと非難した。病院職員や目撃者によると、ガザの市民警察が近くに駐留しているにもかかわらず、これまでも病院は覆面の武装勢力やイスラエルが支援するならず者民兵団の侵入を何度も受けたという。病院当局はMSFの主張を「虚偽であり、根拠がなく、誤解を招くもの」と否定し、保護されている医療施設を危険にさらすことになることを警告した。しかし、ガザ政府内務省は、武装勢力の病院への立ち入りを防ぐために、新たな警察部隊を配置することを発表した。

*ハマスはドロップ・サイトに、トランプ大統領とネタニヤフ首相の新たなガザの完全武装解除要求を拒否すると言った：トランプ大統領とネタニヤフ首相が、全面戦争の再開をちらつかせながら、ガザ復興とイスラエル軍撤退の前提条件として、ハマスをすべての抵抗勢力の即時武装解除要求を強めているが、ハマスは、正式な提案はまだ受けておらず、一方的な武装放棄要求には応じられないと述べた。ハマス上級指導者のバセム・ナイムは、ドロップ・サイトに、「パレスチナ人の抵抗とその武器は正当な権利である。武装解除は拒否する」と語り、ハマスは拘束力ある長期の停戦と、パレスチナ国樹立に向けた政治的プロセスを含む包括的枠組みの中でのみ武装解除の議論をするとして述べた。短期的には、もしも国際的に公認されるパレスチナ人治安部隊がガザ回廊に設立されるならば、特定の「攻撃用」兵器を国際的に検証される形で倉庫に保管するか破棄するなど、具体的取り決めを議論する用意はあると言った。ドロップ・サイトのジェレミー・スケイヒルとジャワ・アフマドのハマス・インタビュー記事は[ドロップ・サイト・ニュース](#)で読みたい。

*「平和評議会」は50億ドル以上の拠出を約束：2月15日、トランプ大統領は、自分が設立した「平和評議会」の加盟国がガザ復興資金として50億ドル以上を拠出し、国際安定化部隊に数千人の兵士を派遣することを約束したと発表した。これは自分のSNSのTruth Socail投稿で発表したもので、同じ投稿文の中でハマスに対し、即時に完全な武装解除を要求した。彼は、「平和評議会」は、「歴史上最も影響力がある国際機関になるだろう」と述べ、19日にワシントンD.C.で同評議会の初会合を、ドナルド・J・トランプ平和研究所と改名して開き、そこで概要を説明すると述べている。

*イスラエル、西岸地区の土地を「国有財産」として登録：ネタニヤフ内閣は西岸地区の土地を「国有財産」として登録する計画を承認した。1967年戦争で西岸地区を占領して以来初めてである。これはベザレル・スモトリッチ財務大臣らが推進する動きを正式承認したものである。国際法は占領国が被占領地の領土没収を禁じているので、イスラエルは1967年に西岸地区でパレスチナ人の登録手続きを凍結し、そのためパレスチナ人の土地の大半が未登録となっているの

を、悪用した措置である。パレスチナ自治政府 (PA)関係者とハマスは、この措置を違法で無効だと非難し、国際的専門家は「事実上の併合」だと指摘している。

***パレスチナ自治政府 (PA)保安部隊、子ども2人を射殺：**アル・ジャジーラ・アラビア語版によると、PA 保安部隊は16日、西岸地区の町タムンで、パレスチナ人の子ども2人(16歳と3歳の兄弟)を射殺した。保安隊は、イスラエルから指名手配されている2人の父親サメル・サマラを追っていた。PA 報道官はサメル・サマラに対しては逮捕状があり、子ども殺害については追って調査すると言った。ハマスは殺害を非難し、PA 保安隊の行動は、イスラエルの西岸地区全域への攻撃激化の中でPA が推し進めている「抑圧的政策」の反映だと述べた。

***西岸地区でパレスチナ人を殺害した入植者、過失致死罪で起訴：**昨年7月28日に西岸地区ウム・アル・ハイル村でパレスチナ人教師で活動家であったアウダ・ハサリーンを殺害した事件で、イスラエル検察は入植者ノイノン・レヴィを過失致死罪で起訴する予定、とタイムズ・オブ・イスラエルが報じた。オスカー賞を受賞したドキュメンタリー映画「No Other Land」に出演していたハサリーンは、撮影中にレヴィから遠距離から狙撃されて死亡した。有罪判決が出れば、レヴィは最高12年の懲役刑になる。

***イスラエル刑務所内でマルワン・バルグーチへの虐待続く：**長年政治犯として収監されているインティファーダー指導者のマルワン・バルグーチは、17日、メギド刑務所で、マルマレイ弁護士の面会を受けた。マルマレイは、バルグーチの精神状態は比較的良好で、身体的にも比較的稳定していたが、聴覚障害と肋骨骨折で悩まされており、これは9月15日の暴行虐待の後遺症だと述べた。バルグーチの弁護士によると、バルグーチと2人の同房者が置かれている劣悪な環境は、食料不足、暴行、外へ出ることやシャワーの拒否、他の囚人からの隔離であると述べている。

イラン

***ホルムズ海峡で海軍演習：**16日、イランはホルムズ海峡を数時間封鎖し、海軍演習を行った。イラン通信社 IRNA によると、イランへの「潜在的な安全保障上の軍事的脅威」に鑑みて、IRGC (イラン革命防衛隊) 海軍の即応態勢を整えることを目的にした演習である。米国がこの地域で大規模な軍備増強を進めていることと、もし攻撃があった場合イランが経済的に重要なこの水路を封鎖するかもしれないという憶測が広がる中で、この演習が実施された。米国は、この数週間、F-35 戦闘機、空中給油機、海軍資源を派遣している。この作戦の一環として163機の大型貨物輸送機がヨルダン、サウジアラビア、クウェートの米軍基地に着陸した。

***イランと米国、ジュネーブの第二回核計画協議の終了を発表：**米国とイランはジュネーブにおける第二回協議を終わったと発表した。ワシントンへ向かう大統領専用機の中でトランプ大統領は記者団に対して、「私は間接的に協議に参加する。彼ら(イラン)は合意に至らない場合の結果に直面したくないと思っているだろう」と語った。一方、イランの最高指導者アリー・ハメネイ師は、協議決裂になったらイランは戦争の用意があると表し、「世界最強の軍でも時には立ち直れない打撃を受けることがある」と述べた。この協議の前に、16日、イランのアッバス・アラグチ外相は仲介国オマーンのバドル・ビン・ハマド・アル・ブサイディとジュネーブで個別会談し、イランは制裁解除と引き換えに核濃縮制限に焦点を当てた合意を「現実的に考える」と述べたが、脅迫には屈しないと強調した。

***ネタニヤフ首相、イラン協議の合意条件を提示：**ネタニヤフ首相は15日の記者会見で、イランとの協議合意にイスラエルとして求める5つの条件をトランプ大統領に提示したと述べた。それは、ウラン濃縮ゼロ、国内のすべての核インフラの撤去、ミサイルの射程距離の厳格な制限、イランの地域同盟勢力の完全解体、それらを守っているかどうかの予告なしの査察の継続である。2015年の核合意ではウラン濃縮プログラムの制限だけであったが、イスラエルはそれの廃止を求めている。これまでイランはウラン濃縮ゼロの条件を拒否してきた。

***イラン外交官、「ボールは米国側にある」：**15日のBBCのインタビューで、イランの政治担当のマジド・タフト・ラヴァンチ外務次官は、17日の米国との協議について、「合意を成立させる意思があることを証明するのは米国で、ボールは米国のコートにある」と言った。彼は、交渉は核問題だけに限るべきで、もし米国がイランのミサイルや地域同盟の制限などを交渉に持ち出せば、交渉は決裂するだろうと警告した。彼はまたウラン濃縮ゼロはイランの資源にとってレッドラインになるとも言った。

米国ニュース

***ジェシー・ジャクソン牧師、84歳で死去：**遺族によると、ジェシー・ジャクソン牧師は17日、84歳で「安らかに」亡くなった。マーティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師の側近であったジャクソン牧師は、民主党のネオリベリズムへの傾倒を防ぐために、「虹の連合」を組織した。彼は放浪するフリーランス外交官として、しばしば世界平和活動の中心にいた。1988年の大統領選挙ではもう少しで民主党候補指名になるところであった。彼はバーニー・サンダースなど革新派世代を民主党国政へ引き入れた。トランプ大統領はジャクソン牧師を誉め、彼に事務所を提供したことがあるという声明をSNSで発信し、さらに「ジャクソン牧師はバラク・フセイン・オバマの選挙に大きく貢献したのに、その功績は認められなかった。オバマはジェシーが我慢できなかった男だ」と書いた。

***マムダニNY市長、NY州から15億ドルの資金獲得：**16日、ニューヨーク市のゾーラン・マムダニ市長とニューヨーク州のキャシー・ホウクル知事は、州が市に15億ドル投資すると発表した。これはホウクルによるマムダニ市政への支持の表明である。17日にマムダニ市長は彼の市政の初の暫定予算案を発表する。

***ブルックリン海軍工廠、イスラエル軍用ドローン・メーカーに退去を強制：**ブルックリン海軍工廠開発公社(BNYDC)は、市所有のブルックリン海軍工廠におけるドローン製造企業イージー・エアリアル社との契約更新を拒否し、事実上このイスラエル軍用ドローンを製造するメーカーを退去させたと、ニューヨーク・ポスト紙が報じている。エリーズ・ステファニック下院議員はこの決定を「大変憂慮すべきこと」と言って、マムダニ市長を非難した。しかし、これを支持する人々は、イージー・エアリアル社は、米政府エージェントとイスラエル軍がガザで監視と破壊と殺害に使用しているドローンを製造していることで、技術的に戦争犯罪共犯であると言っている。

***ミュンヘン会議で米国大使、国連軽蔑発言；**15日にミュンヘンで開催された安全保障会議で、マイク・ウォルツ米国大使は国連を「80年間失敗を続けた遺物」と呼び、米国政府は直接的ディールによって多国間主義を改革して「世界を崖っぷちから救っている」と述べた。彼はEU外務・安全保障政策上級代表のカヤ・カラスに「国連を再び偉大に」と記した帽子をプレゼントさせた。彼女はこれに反発し、米国の強さは同盟国のおかげだと強く言った。「米国が戦争するとき、同盟国も同じように戦争に行き、多くの国民の命を失っている」と述べ、「経済力においては、中国も非常に強力な国です。軍事力においても同じです。あなたの国と他の超大国とはどこが違うのですか」と言った。さらにカラスは、米提案の「平和評議会」の権限が広範で、その意思決定権がトランプに集中していることを批判した。

***米国務長官、キューバは制裁解除を望むなら経済を「開放」せよと発言：**マルコ米国務長官は週末ミュンヘンで記者会見し、キューバが米国の制裁措置と石油封鎖の解除を望むならば、経済自由化を拡大する必要があると述べ、キューバを苦境に陥れたことが経済改革の後押しになると主張した。キューバ政府は、それをルビオの「最大圧力」アプローチと呼んで拒否した。ブルーノ・ロドリゲス・パリジャ外相はルビオが個人的な思惑を迫っていると非難し、カルロス・フェルナンデス・デ・コシオ外務次官はキューバの主権を主張して、キューバは「自国憲法制度を米国と議論する気はない」と言った。

***トランプは、キューバ政府が接触はないと言っているにも拘わらず、ルビオ国務長官がキューバと接触していると主張し続けている：**16日、トランプ大統領は大統領専用機内で記者団に対し、ルビオ長官がキューバの外務大臣と接触していると語ったが、キューバ政府はそのような接触はないと何度も否定している。ルビオがトランプをキューバと会談させないようにしている件については、[ドロップ・サイト・ニュース](#)を読みたい。

***ニュージャージー州民主党議員が米のイスラエル支援に関する姿勢を転換したことを示す音声データがリーク：**ニュージャージー州第12選挙区選出のスー・アルトマン議員がイスラエルへの米国製武器支援を支持してきた自分の立場を再考していると述べている音声が出た。この発言は、2024年の選挙ではAIPACと繋がった民主党内「イスラエルのための民主多数派」(DMFI)の支持を受けて、イスラエルが自衛のための武器や資源を確保するのは当然だと言っていた主張とは大きく異なる。流出音声の中でアルトマンは、「あれから多くのことが起こった。ガザで起きたことは恐ろしい悲劇で、私たち納税者のお金が罪のない子どもや女性殺害に使われることは望まない」と言っている。アルトマンは、ガザで医療活動した経験があり、イスラエルへのあらゆる軍事援助に反対している医師アダム・ハマウィとの対談で話したのだ。

***連邦判事、医療怠慢を被ったICE(移民関税捜査局)の拘禁者の釈放を命じた：**13日、タナ・リン連邦判事地方判事は、ノースウェストICE移民手続きセンターに拘禁されているグレギー・ソリオの釈放を命じた。NBCニュースによる

と、施設のソリオに対する医療の怠慢で極度の苦痛と恒久的障害につながった可能性が強いと指摘された。ソリオはワシントン州タコマのICE施設で両足の部分切断手術をされ、潰瘍性大腸炎、貧血、酷い体重減少、腎臓損傷を患った。リン判事は判決文の中で、ソリオが不当な扱いを受け、拘禁環境は憲法が保証する権利を侵害していると述べた。

*** ミネソタ州政府は、FBIがアクックス・プレッティ殺害に関する証拠を隠蔽していると主張：**ガーディアン紙によれば、連邦捜査局（FBI）は、CBP（税関・国境警備局）捜査官によるアクックス・プレッティ殺害事件の捜査で収集した証拠の開示を拒否している。16日、ミネソタ州の犯罪捜査局（BCA）は、FBIがプレッティ殺害事件に関する証拠の開示を拒否すると通告してきたと発表した。FBIはまたICE職員に頭部を撃たれたレネー・グッドと脚を撃たれたフリオ・ソサ・セリスの事件に関する証拠の開示も拒否している。

国際ニュース

*** スーダンで60人以上が死亡：**ラジオ・ダガンバによると、スーダンのコルドファン州とセンナール州で2日間にわたり無人機による攻撃が続き、60人以上が死亡した。緊急介護士グループによると、西コルドファンではスーダン軍（SAF）がエル・スウトの避難所を攻撃し、女性9人と子ども12人を含む少なくとも28人の民間人が死亡し、北コルドファンではSAFの無人機がエル・サフィア市場を攻撃し、28人が死亡した。センナールでは、スーダン医師ネットワークが、即応支援部隊（RSF）の病院への砲撃で3人が死亡したと報告した。RSFの軍事行動開始の主要拠点の南ダルフル州ニャラでもSAFの追加攻撃が行われたという報道がある。

*** スーダン軍、西コルドファン州で即応支援部隊（RSF）の2基目の防空システムを破壊したと発表：**スーダン・トリビュン紙によると、15日、スーダン軍は西コルドファン州アブ・ザバドで「特殊作戦」を実施し、RSFが使用していた中国製FB-10短距離防空ミサイル・システムを破壊したと発表した。スーダン軍はRSFに「甚大な損害」を与えたと主張している。

*** イスラエルの無人機攻撃でレバノン南部と東部で民間人死亡：**16日早朝、レバノン国境のハニーン村で、イスラエル無人機の攻撃のためにスクールバスの運転手が死亡した。地元報道によると、運転手が子どもを乗せる準備をしているところを攻撃され、スクールバスが炎上したという。その前日にもレバノン東部のレバノンとシリアの国境付近でイスラエル軍無人機が車両を攻撃し、4人を殺害した。イスラエルはこの攻撃はパレスチナ・イスラム聖戦関係者を標的にしたと主張しているが、その証拠を示していない。

*** 米国の圧力でキューバの燃料不足が深まり、廃棄物危機：**アル・ジャジーラとロイター通信の共同報道によると、燃料不足によりハバナゴミ収集車の稼働数が半数以下となり、16日には、キューバ全土、とりわけ首都ハバナでゴミが山積みとなった。ハバナの106台のゴミ収集車のうち燃料不足のため稼働できるのは僅か44台で、廃棄物の蓄積が公衆衛生上の懸念を引き起こしている。この状況に対し、トランプ大統領はキューバを「破綻国家」と呼び、メキシコとスペインは支援を約束した。

*** アルゼンチン上院、ミレイ政府の労働改革法案を可決：**先週の12日、アルゼンチン上院は、ハビエル・ミレイ大統領が主導する包括的な「労働近代化」法案を42対30の賛成多数で可決した。この法案は、「時間銀行」¹を利用して、労働時間の延長、退職金の削減、生活必需品生産セクターにおけるスト権制限、雇用主が外貨または現物で給料を支払うことの許可、組合との契約の弱体化を含む「改革」である。主要労組が議会前で抗議し、全国ストライキを検討している中で、可決が行われた。

*** カナダのカーニー首相、トランプ関税に対抗するため、EUとインド太平洋貿易圏の構築：**ポリティコの報道によると、カナダのカーニー首相は、トランプ政権の「強制的な」関税に対抗するために、EUと12カ国からなるインド太平洋諸国の間で大規模な貿易同盟の形成に向けた初期段階協議を主導している。彼は、今年初めのダボス会議で、「ミドル・パワーズ」による「大サプライチェーン」を構築して、超大国の経済的脅迫に対抗しようと訴えた。

*** EU外務・安全保障上級代表、ロシアはウクライナ以上のものを要求していると主張：**ミュンヘン安全保障会議でEUのカヤ・カラスは、ロシアの野望はウクライナだけにとどまらぬと主張した。「ドンバスがプーチンの最終目標ではな

¹ 「従業員が残業した時間を蓄積して、休暇とか手当支給する「柔軟な」勤務管理システムといわれる。

い」と述べ、EUはロシアの侵略に備えなければならないと言った。カラスは、ロシアは長年の戦争で僅かの領土を獲得したが、大きな犠牲を出し、経済は「粉々に砕けた」と指摘し、ロシアは戦場で達成できなかったものを交渉の場で手に入れようとしている警告した。カラスは、如何なる和平合意にも、拉致されたウクライナの子どもの返還とウクライナ破壊への補償を含めなければならないと主張した。

***ロシア、ウクライナの大規模なドローン攻撃を迎撃し、ウクライナ東部で領土獲得と主張：**ロイター通信によると、16日、ロシア国防省は過去24時間でウクライナの無人機345基を撃墜し、ウクライナ東部のポクロフカとミンキフカを制圧したと発表した。

***米国、中国を無視して、フィリピンへミサイル配備拡大を発表：**16日、米国とフィリピンは共同声明で、今年の防衛協力拡大計画を発表した。これには、合同軍事演習、米国支援によるフィリピン軍近代化、フィリピンへの米国の最新鋭ミサイル及び無人機システムの配備拡大が含まれる。この声明は、南シナ海で領有権をめぐる中国とフィリピンの軍艦の睨み合いが激化し、同海域に米軍の軍事力が拡大する中で発表された。

***米国、ナイジェリアに軍を派遣：**ロイター通信によると、15日、イスラム過激派に対する作戦拡大の一環として米軍部隊がナイジェリアに到着した。ナイジェリア政府は、米軍部隊はナイジェリア軍の訓練と助言を行うだけで、戦闘には参加しないと述べた。この派遣は、これまで米軍がイスラム国（ISIS）と関連する過激勢力を攻撃してきたことの延長線上にあるもので、トランプ大統領が国内治安とキリスト教徒に対する「宗教差別」でナイジェリアを批判する中で行われた。ナイジェリア政府はトランプの批判に対して異議を唱えている。

***ナイジェリア軍、過激派民兵の共同攻撃を撃退：**16日、ナイジェリア軍は、カメルーン国境付近のプルカとボルノ州南部マンダラギラウ軍事基地へのイスラム過激派等の共同同時攻撃を撃退したと発表した。ロイター通信によると、この戦闘は今年になって北東部で報告された戦闘の中で最も激しいものだった。ナイジェリア軍によると、ボコ・ハラムとイスラム国西アフリカ州（ISIS-WA）の武装勢力が一時的に拠点の一つを制圧したが、その後撃退された。兵士と民間人支援部隊の死傷者数は不明である。

***ブルキナ・ファソ北部でイスラム過激派の襲撃でガーナ商人7人が死亡：**ロイター通信はガーナ内務相の発言として、14日イスラム過激派がブルキナ・ファソのディタオの町を襲撃し、ガーナ人のトマト商人7人が死亡したと報じた。襲撃者たちは男と女を分離し、男に発砲した。目撃者がロイター通信に語ったところによると、「彼らは銃を乱射し、そこにいたほぼすべての男を殺した。トラックごと焼き払った」と語り、犠牲者の遺体は原型が分からないほど焼け焦げたと付言した。軍は生存者を護衛して避難させたが、現場の安全確保に苦慮している

***戦争犯罪裁判開始を受け、ミャンマーは東チモールの上級外交官を国外追放：**東チモールの裁判所がミャンマー軍に対する刑事告訴を受理したことを受け、ミャンマー軍政府は東チモール外交官に国外退去を命じた。このため、東南アジア諸国連合（ASEAN）内の緊張が高まっている。チン先住民族の人権を守る「チン人権団体」が支援するこの裁判は、ミン・アウン・フラインなどミャンマー軍政府幹部を戦争犯罪と人道に対する犯罪で告発している。東チモールのジョゼ・ラモス・ホルタ大統領はミャンマー軍事政権を批判している。

その他のドロップ・サイト情報

***Eメールから、エプスタインがエフワード・バラクとともに、アフリカ全土で物流、警備、エネルギー取引でブローカーをしていたことが判明：**新たに公開された司法省のエプスタイン・ファイルのメールによると、ジェフリー・エプスタインは長年にわたり、アラブ首長国連邦のコングロマリット「DPワールド」のために、ナイジェリアでインフラ及び物流取引のブローカーとして活動し、同時に元イスラエル首相のエフワード・バラクが西アフリカ全域でイスラエルの監視、サイバーセキュリティ、エネルギー事業を拡大するのを援助する活動をした。メールのやり取りの中には、テロ対策と売り込まれたセキュリティ・パートナーシップ（パレスチナ人で最初に実験された生体認証システムを含む）が、石油、鉱物資源、港湾への投資誘致に利用されたプロセスが詳しく示されている。エプスタインはナイジェリアでの夕食会を「この夕食会は、イスラエルのよき友人たちと出会い、イスラエルにとっても新しい友人を作る素晴らしい機会になります」と述べている。